



題字・箱島信一書
発行 修猷館同窓会
東京支部事務局
〒150-0011
東京都渋谷区東 1-8-1-301
クリプテル(株)内
東京修猷会ホームページアドレス
<https://www.shuyu.gr.jp/tky/>

「新春に乾杯」 天猷会・星祭の 記念品より

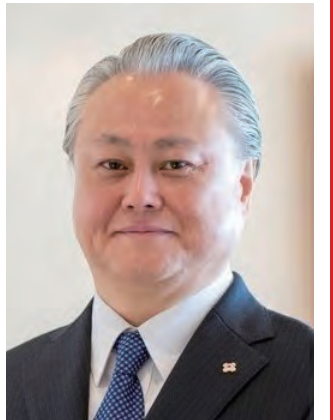
江戸切子／木本硝子

1931 年創業。「職人の精神がこもった硝子のすべてをプロデュースする」がコンセプト。長年、問屋として培った視座を活かし、硝子製品の新しい世界観に挑戦を続ける。モダンな江戸切子は欧米や中東でも人気を博す。

枡／大橋量器

1950 年創業。日本の伝統の道具「枡」を専門に製作。はかりや酒器、節分の豆まきの器等で活躍する枡は、1300 年の歴史を持ち、次世代へつなぐため技術と文化の伝承を大切にしている。木材も国産にこだわる。

「伝統」～星が集い培うもの～



東京修猷会副会長
鈴木 俊彦
(昭和53年卒)

新年明けましておめでとうございます。
館友の皆様には、清々しい心持ちにて
新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、物事が色々動いた年でした。世界ではウクライナ、イスラエル・ガザなど引き続く紛争の行く末に光が見えては消えを繰り返す中で、トランプ政権の本格稼働などにより「むきだし」の力が今まで以上に幅を利かせるようになりました。国内では、参院選などを通じ、排外的・排他的な一部の主張の高まりが懸念されるところにも、長年続いた自公政権に終止符が打たれ、与野党ともに多党化が進む中で政治の安定化に向けた新しい枠組への模索が続いています。

私は、三十七年余り行政官として厚生省・厚生労働省等で社会保障政策などに携わり、内外の社会の変容に眼を向けてきました。御案内のように、ポピュリズムや排他・分断といった、今私たちが直面している状況は、グローバリズムの進展とともに今世紀初頭から世界に広がっていました。ここに来てついに我が国社会にもその片鱗を見せ始めました。これまで普遍的あるいは当たり前と考えられてきた基本的な価値やシステム、例えば自由主義・民主主義や資本主義といったものが揺らぎを見せ、あるいは重大な挑戦に直面しています。そして、どの国の社会も格差や分断の危機の中で曲がり角を迎えて大きく変容しつつあり、人々が生活していく上で様々な社会的課題が立ち現われています。時代は激動の中にあります。私たちは、後世から見て「あの時代は色々なことが大きく変わっていった」と評されるときに生きているのかもしれない。

令和二年秋に厚生労働省を退官し、縁あって令和四年夏から日本赤十字社に奉職しています。赤十字は世界の百九十一の国と地域で「人道の実

現」の理念の下に活動している運動体・事業体です。武力紛争時の救援活動や自然災害時の救護活動をはじめ、「人間の生命と健康、尊厳を守る」ための活動を広く展開しています。内外ともに社会が変容していく中で様々なリスクに直面し苦しむ人が増え、今こそ赤十字がその真価を発揮すべきときであると強く感じています。令和九年五月、日本赤十字社は創設から百五十周年を迎えます。二百四十有余年の修猷館の滔々たる歴史とは比ぶべくもありませんが、我が国の人道の要として積み重ねてきた伝統の上に立って、赤十字はこれからの時代、どのような道を進むべきか、己に問いかける日々が続いています。

「伝統」とは一体何なのでしょう。この間に向き合ったとき、私には必ず想起する言葉があります。「伝統とは形を継承することを言はず、その魂をその精神を継承することを言ふ。」これは、近代柔道の創始者である嘉納治五郎の言であり、まさに伝統の本質を言い当てた言葉です。あらためて考えてみれば、我々は青春時代のわずか三年間を修猷館で共に過ごしたという一事のみによって、その後の人生において館友としての絆を保ち続けています。それはまさに、修猷館の伝統すなわち、修猷館の魂・精神を引き継ぎ、受け継いで共有しているからこそ成り立っていることなのではないでしょうか。

今年の東京修猷会会報のテーマは「星を集めて未来を照らそう」です。修猷館の伝統は、修猷館に集った我々一人ひとり（星）が培ってきたものであり、その価値は、墨守することにあるのではなく、人の心・繋がりの中で息づいて未来を照らす力であることにこそあるのだと思います。その魂その精神は館歌としても歌い継がれているではありませんか。「皇国の為に世の為に尽くす館友幾多」。

新たな年が館友の皆様にとって希望にあふれた良き年となりますよう、心から願って年頭の御挨拶といたします。



東京修猷会2026年 活動スケジュール

※各日程・場所は予定であり、変更になる可能性があります。
※二本会講演は6、8月を除く毎月第二木曜日に開催。

- | | |
|--------|---|
| 1月 | 元旦 会報発行
(住所登録済の全会員に送付) |
| 8日(木) | 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 2月 | 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 12日(木) | 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 3月 | 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 12日(木) | 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 25日(水) | 春期常任幹事会 |
| 4月 | 9日(木) 二本会(新人歓迎会)
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 19日(日) | 二本会ゴルフコンペ |
| 5月 | 14日(木) 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 6月 | 12日(金) 総会
テーマ「一生青春青春祭」
於ハイアットリージェンシー
東京
午後6時より
(幹事学年は平成11年卒) |
| 7月 | 9日(木) 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 9月 | 5日(土) サロン・ド・修猷
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 13日(日) | 二本会ゴルフコンペ |
| 10月 | 8日(木) 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 29日(木) | 秋期常任幹事会 |
| 11月 | 12日(木) 二本会
於：グラントヒル市ヶ谷 |
| 12月 | 10日(木) 二本会忘年会
於：未定 |



総会の振り返り「星を集めて未来を照らそう」

幹事：平成 10 年卒・天猷会

～参加者の交流を促し、それぞれが楽しみ方を見つける仕掛けづくり～



等会長、加藤副会長、鈴木副会長、箱島相談役、伊藤相談役、野本館長らを囲んで、全員でパチリ



着る屋台（「着台」）はH10卒の波戸君がデザインしたものを
持ち込みました。「着る屋台」を等会長に着ていただき、
加藤副会長、鈴木副会長も交えて乾杯をして懇親会を開始

「星を集めて未来を照らそう」をテーマに、コロナ禍前の会場であるハイアットリージェンシー東京に会場を移しての総会。同級生、先輩方、後輩の皆様に色々とお相談・ご協力いただいたお陰で、目標には届きませんでしたが結果500名を超える館友の皆様にご参加いただきました。大変ありがとうございました。

コロナ後の各種費用の高騰をうけて、昨年から会費の改訂が行われましたが、それに加えて今年から協賛企画を導入、また子連れの方に向けた保育所の導入など、実験的な試みも含めて色々行わせて

います。個人的には、懇親会の会場に入った瞬間、参加した館友の皆様から「おーっ」という歓声が上がリ、その後、多くの先輩、後輩から「今年の総会は本当によかった」とお声をいただくことができたことで、今回の総会は成功と言えるところまではいけたのかなと思っております。正直、何とかなつてよかったという思いが強いのですが、私を支えてくれたところか、手の遅い私を叱咤激励してくれた同期の皆様本当に心から感謝しています。



東京修猷会総会を終えて
総会実行委員長 福島 直央（平成10年卒）

企画紹介

昨年6月13日（金）、新宿のハイアットリージェンシー東京のセンチュリールーム・クリスタルルームにて、令和7年度東京修猷会総会を開催いたしました。コロナ前の令和元年度総会以来の会場に戻ったのは嬉しかったです。

費用の高騰を受けての協賛提供を個人・企業の方に出してもらうという協賛企画の導入、世代間交流を促すためのDEMISE（出店）企画の実施や、ゲーム企画の実施、「星を集めて未来を照らそう」というテーマから、多くの同窓生の方々と星と見立てた、インタビュリー冊子の作成、配布、多様なオリジナルグッズの紹



恩師は数学の荒神一臣先生（左）と、国語の新谷勉先生（右）にお越しいただきました



故郷福岡市を紹介するDEMISEも設置しました



星たちを紹介するDEMISE

介など、多くの企画を幹事学年である天猷会（H10年卒）を中心に実施させていただきました。幹事学年もあわせて514名と多くの館友の皆様にご参加を賜りました。

修猷同窓にどのような人がいるのかを知り、総会の企画をネタに交流をするひと時となり、最後は参加者全員で記念撮影を行わせていただき、はよせん会（H11年卒）へとバトンを手渡しました。

副実行委員長
陣野 大輔（平成10年卒）



半ば強制的に回ってきた学年幹事に最初は戸惑いました。最初は同級生に声をかけるのも躊躇しましたが、いつしか「またみんなと一緒にやりたい」と、

副実行委員長
岩瀬 泉（平成10年卒）



総会で有志合唱した歌「つむぐ星よ」に、行く年を重ね、修猷の絆は強くなるばかり」という歌詞があります。最後のMTGで「あと少し。大変だったけど楽し

協賛
星子 賢二（平成10年卒）



当日参加者の枠を超え、修猷同窓会を「応援したい気持ちを受け取る」、その気持ちに応える（感謝を表す、動員に繋げる、

多くの同級生に声をかけている私がいきました。約1年間、同級生が結集し、一つの目標を共有できる、かけがえのない宝物のような時間になりました。総会の準備を進めながら、学生時代の友の存在が、如何に自分の人生に豊かな彩りを与えてくれるかを実感しました。最後に、至らない私たちでしたが、執行部総会担当の高木、梶栗両先輩が、不羈独立の精神で常に温かく見守ってくださったことに、深く感謝申し上げます。

かったね「終わったらいっぱい打上げしよう」etc.と聞いて、歌詞の通りだと実感しました。天猷会は様々な挑戦を行い、LINEグループは30を超え、寝不足もしばしば。調整が難航する場面もありましたが、なんとか乗り越えることができました。今後、最高の同級生達と年を重ねていくのが嬉しいです。全国から応援してくださった沢山の先輩・後輩・同級生、先生方、そして執行部の皆様、心より感謝申し上げます。

場を盛り上げる）、感謝を繋ぐ（次年度幹事へカネ、ワクワクを届ける）ための良い仕組みが無いかと考え、本年のコンセプト「星祭」に掛けて、提灯企画にチャレンジしました。安全に配慮した構造設計、限られた要員の当日の設営撤収、名入れ期間を見越した発注段取りなど苦慮する点もありましたが、終わってみれば当日のアイコンとなる素晴らしい企画に仕上がりました。ご協賛頂いた館友の皆様、本当にありがとうございました。

修猷生は一生青春

青春祭

令和8年度
東京修猷会総会



2026.06.12

平成11年卒
はよせん会

令和八年六月十二日（金）
ハイアットリージェンシー東京
幹事学年・・・
平成十一年卒はよせん会



天猷会の挑戦 ～全国でキャラバン～



中京修猷会

顔を見せての告知に力を入れました！

天猷会は「星を集めて未来を照らそう」というコンセプトの下、コロナ前の賑わいを取り戻したいと考え、キャラバンに力を入れました。足が遠のいた方、未参加の方等、どうしたらお越しいただけるのか、総会へのご要望やご提案等のお声があれば承りたく思い、各地の同窓会をはじめ、同期会、職場の修猷会、部活の集い、二木会、ゴルフ等、様々なところにお伺いさせていただきました。会報にキャラバン先のすべてを掲載できず大変恐縮です。実際にいただいたお声は、持ち帰って検討して、できる限り実現させました。温かく歓迎くださりありがとうございました。



近畿修猷会



二木会



二木会忘年会



二木会懇親会



東北修猷会



告知協力★安東氏

東京修猷会の年会費が集まるといういな！
幹事はネット払い、総会の受付で全参加者へ呼びかけ



東京 shuyu 音楽倶楽部



S54年卒忘年会



修猷のTシャツを着たい！
物販で作りました！

協賛へのお礼を目に見えるものに！
寄付金額6,000円以上の方にお名前を入れた提灯を製作。当日、会場内に飾りました

若手のチケット代を下げたい！
チケット代を下げても総会が成り立つよう協賛を復活



研修旅行座談会



S49年卒同窓会



S51年卒の集い



H4年卒の集い



S59年卒新年会



若手会

子どもを預けるところが欲しい！
託児所（無料）を用意しました



平令修猷会

福岡市、ふるさと納税流出でピンチ！
福岡市コーナーを用意して故郷の様子と合わせてPR



H9年卒新年会



若手会

館友の活躍を紹介したい！
本人取材、著書、レストラン等を冊子にまとめました

手ぬぐいの使い方を知りたい！
使い方動画を製作

めんツナ簡単アレンジ教えて！
プロの料理人にレシピを提供いただき、冊子に掲載

校舎と写真撮りたい＆天猷会の法被を着たい！
校舎パネルのフォトコーナー＋レンタル法被を用意しました



修猷クローバー会

天猷会の挑戦 ～様々なオリジナルコンテンツの制作～

動画とコント

東京修猷会・懇親会の最後に翌年総会のPRタイムがあります。2024年度は3年ぶりのホテル開催（幹事は九猷会）。ぜひ、来年も来たい！と思ってもらえるよう、PR用のオリジナル動画を作り、コント（謎かけ）を考えました。謎かけには執行部の梶栗先輩と松尾先輩（ともに平成元年卒・ガングアン会）、福岡から来た同級生にも協力いただきました。その後も工夫をこらしたキャラバンを心がけました。【なぜなら】「ゴルフコンペでは少ない方が、同窓会では多ければ多い方が嬉しいものは何でしょう？」正解は「OBの数」

グッズとCM

再会をより喜べるグッズ、その喜びを持ち帰れるグッズ、福岡の良さを再確認できるグッズ等、幅広く製作。6つ合わせると六光星になる栴や「鶴乃子」と「雪うさぎ」のコラボ、東京らしいものとして江戸切子とコラボ。それぞれ、星祭当日を思い出すアイテムとして、人生のお伴となりますよう、心を込めました。CMも作りました。



天猷会動画



提灯

朱色の六光星入りの特注提灯。“大学や社会に入って間もない若き六光星のカケラたちにも集って欲しい”“彼らを迎える星祭に彩を灯したい”そのような思いから、協賛金を募りました。協賛金は若手の会費補助等に充て、当日は協賛者のお名前を記載した提灯を飾りました。当日参加が難しい方や部活、学年同窓会名での協賛もいただきました。「同じ会社で修猷生がいなかったら探したところ見つかって、会社内のつながりに繋がりました」「部活の上下の学年と知り合う機会になりました」というお話も聞けました。大変嬉しく存じます。



幹事引き継ぎ会の様子

修猷館生の人生は、一生青春である！
修猷館を卒業する私たちに、当時、館長をつとめておられた船津正明先生が贈ってくださった言葉です。
修猷館で過ごした日々は、過去の思い出ではなく、卒業後もそれぞれの場所で挑戦を続け、人生を輝かせる我々の、情熱の源。総会のテーマは「青春」。今もなお青春を突き進む館友の熱に触れ、互い刺激し合い、青春の熱が循環し増幅していく。そんな一夜を共に創り上げましょう。
令和八年度 東京修猷会総会 一生青春「青春祭」

総会実行委員長
才野 大輔（平成11年卒）



修猷鼎談

我が国、日本は、世界に先駆けて超高齢社会を迎え、社会保障制度は今、大きな岐路に立たされています。今回は社会保障分野に詳しいOB/OGとして、横倉義武様（昭和38年卒、日本医師会名誉会長）、谷川浩道様（昭和47年卒、日本商工会議所 副会頭）、原祐一様（昭和60年卒、福岡県医師会常任理事）の3名のOBの方との対談を行いました。（2025年10月22日時点の情報をもとに議論しています）



横倉 義武さん（昭和38年卒）
日本医師会名誉会長

原 医療費については一般医薬品と同様の薬は保険対象から外すという議論があるが、それでは3000億円も浮かない。私は個人的には入院を2／3にするとか、一部の療養病床や精神科病院を介護保険で見るなどにするこ

で見るなどにするこ

で見るなどにするこ

で見るなどにするこ

で見るなどにするこ

で見るなどにするこ

療費の4兆円削減はできないのではないかと考えている。本来福祉や介護でみるべきところを医療で見てきた面がある。

谷川 歴史的に日本は、医療が福祉の役割を制度的にも担ってきたからこうなっている面はあるね。

横倉 医療提供側の大きなソフトチェンジがある。地域の医療体制や病院の機能をどう整理するかを急がなくてはならない。

原 日本は1970年代に高齢化問題への対応として高齢者の対応を病院に丸投げすることを発明したというのがあると考えている。老人病院とか精神病院とか。当時は医療保険の公費投入は少なかつたからWin-Winだった。これが今も続いているのをどうするかだと思う。

福島 シフトチェンジという話がありましたけどどのよう

にシフトするのでしょうか。

横倉 昔は高齢者を家族、主に女性が在宅で見

いたが、女性が社会に出ていくという流れで介護保険ができた、女性が家庭から解放されたという面がある。また施設から在宅へと

言っているが、その時に家庭内で見える人を確保できるかということがある。

原 実際に子どもがいなかったり東京にいたりとかもある。家庭は難しく、病院から施設へと

ことになるのではないかと考えている。

谷川 東京には在宅福祉を担う会社が幾つもあ

つて

ある

社会保障対談

日本の社会保障と医療体制の行方

聞き手：福島 直央（平成10年卒）



谷川 浩道さん（昭和47年卒）
日本商工会議所 副会頭

そこが頑張っているのを見てきたが、福岡は特養とかが受け入れ先になるのだから。マンションで住んでいた人は施設で良いが、戸建てに住んでいた人は家に

帰りたいという人は実際にあるが。

原 在宅医療をやっているのだが、家に帰ると慣れているので自分でお風呂に入って転んだり溺れたりして死んでしまつとかそういうこともある。元々の家に高齢者が一人で住むのはなかなか難しい。

横倉 基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

横倉

基本的な生活を自分でできなくなる、食事ができなくなるとい

うときに

はもう生命の終わりであるという認識を社会的にも持たないといけない。今までは生を伸ばさなくては

いけないと言われてきたが、

館友時評

正しく身体を使う

ー白木体育が教えてくれたことー

金岡 恒治（昭和56年卒）



早稲田大学スポーツ科学学術院教授
スポーツドクター／整形外科専門医／
脊椎脊髄病医

医学的サポートを行い、水泳連盟の医事委員長として水泳選手の腰痛予防対策として体幹インナーマッスルの研究を行い、その方法を一般の腰痛者の運動療法として普及する活動をしていきます。

その学術的経験から考えられるのは、手押しする方が遅いやつは、体幹と上肢の筋肉の連携（シナジー）ができていなかった、ということです。手

前につく直前に体幹筋が活動して脊柱を安定させてい

れば、腰は落ちずに素早く移動できたはず。もし白木

体育で正しい使い方、シナ

ジーを身につけられた者は

きつと後の腰痛から解放

されていることでしょう。き

つい思いをして頑張った甲斐

があつたというものです。で

もシナジーが形成されていな

かった人は、半世紀が経った

今、日常生活の動作によつて

腰痛や肩こりに悩まされて

いる頻度が高いと推察します。脊柱を安定させる筋肉が適切なタイミングで働く機能が低下していると日常の動作でも背骨や筋肉に負担

がかかつて、筋肉が凝り、軟骨が減り椎間板ヘルニアになり、骨は変形し脊柱管狭窄症になつて坐骨神経痛を引き起こします。さらに、この機能が低下したままだと直立二足歩行ができなくなる危険性も高まります。つまり腰痛や肩こりが起きているということは自身の身体の機能が低下していることを現すサインなのです。薬や湿布やマッサージで誤魔化している場合ではありません。身体の使い方を改善させることは何歳になつても効果はあるので、今からでも遅くないので教えてあげたい。またたとえばの時上手くできていた人でも加齢に伴って機能が低下していつ

たかは日頃の運動・スポーツが重要です。かくいう私も50歳代から泳ぐようになり、ゆつくりですが年間2000キロくらい泳ぎ、2023年の福岡世界水泳のマスターズ大会の救護を担当した時に90代の高齢者が一生懸命、楽しそうに泳いでいるのを見て競技会に出ようと決

めて今年のシンガポール大会では選手として出場してきました。皆様もきつかった体育や部活のことは忘れて、楽しく運動・スポーツをしてみませんか？ そうすれば死ぬ前日まで二本足で歩けることでしょう。

大阪・関西万博を駆け抜けた修猷生

大阪・関西万博は4月13日から10月13日まで大阪湾の人工島・夢洲で開催されました。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。世界158の国・地域と7つの国際機関が参加し、空飛ぶクルマや最新AIなどの先端技術や、多様な文化との交流を楽しむことで、SDGs達成や医療・環境など人類共通の課題解決に向けた未来社会を体験・共創する場となりました。総来場者数は2901万7900人。大阪・関西万博と共にごてごての時間を過ごし、駆け抜けた修猷生取材しました。



私は「高原レストラン 水空」の空調設備の企画・監修を担当しました。開幕の2年前、2

開幕直前は、急ピッチで進む各パビリオンの建設や水上ショーのリハーサル、レストラン内でのスタッフの接客トレーニングなどの光景を実際に目にし、さまざまな立場の多くの人々で万博を作り上げようとしている雰囲気を感じました。

私は「高原レストラン 水空」の空調設備の企画・監修を担当しました。開幕の2年前、2

期間中も、導入した空調設備の運転調整や不具合対応のために幾度となく会場に通いました。特に開幕直後は、開

期間中も、導入した空調設備の運転調整や不具合対応のために幾度となく会場に通いました。特に開幕直後は、開

ラン店内から見た最後の夜の大屋根リングの華麗な姿は格別で、万博が終わった寂しさを

ラン店内から見た最後の夜の大屋根リングの華麗な姿は格別で、万博が終わった寂しさを

最後に、万博は「大人の文化祭」のようなものだと思います。来場者として楽しむのも

最後に、万博は「大人の文化祭」のようなものだと思います。来場者として楽しむのも

なかでも名高いナポリピザ。グルテン豊富な小麦粉に、ナポリ歴史地区の水道水を

なかでも名高いナポリピザ。グルテン豊富な小麦粉に、ナポリ歴史地区の水道水を

10年ほど前から治安もすっかり落ち着いたナポリで、ぜひご賞味ください。

10年ほど前から治安もすっかり落ち着いたナポリで、ぜひご賞味ください。

大阪・関西万博のレストラン用空調設備の導入・実証検証を通して 岡本 哲也（平成8年卒）

2025年の暑い夏、大阪は万博で大いに盛り上がりま



自社製のアトムTシャツを着て満面の笑みの筆者



パビリオン展示で「未来のスマートウェア」に興味津々の子どもたち

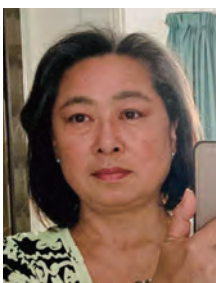
私は万博に18回通いました。まさか最初はこんなにハ



世界最高の文化祭 万博で全パビリオン制覇！ 清水 御冬（平成元年卒）

番組取材も行いました。そして次第に全部のパビリオン

海外からのお便り
「庶民の食都ナポリ」五十君 麻里子（昭和61年卒）



「庶民の食都ナポリ」五十君 麻里子（昭和61年卒）

水分が多めの生地はモチモチ。時間をかけて低温で焼く、ローマピザのフチ無し・カリカリとは対照的である。

アラビアであるので、それぞ



（天空メディア合同会社代表 プロデューサー）

引き継ぎ座談会

盤石の布陣、次の世代へ未来を託す

長年、冷静な立場で東京修猷会を支えて下さった前監査役の広瀬豊氏(昭和43卒)と前事務局の奈良崎育雄氏(バルティール社長)が急流勇退。新しく監査役に松尾隆広氏(昭和54卒)、事務局に中原誠也氏(昭和54卒)が就任しました。四名様に東京修猷会への思いをお伺いしました。

広瀬さん、お疲れ様でした。

広瀬 有難うございます。私は会計と業務を監査し、同窓会の健全と信頼を保つため、18年、見守つておりました！

松尾 監査役Ⅱ広瀬さん！

広瀬 松尾君も長いよね？

松尾 副幹事長8年、幹事長5年、顧問5年…同じ18年！

松尾 監査役Ⅱ広瀬さん！

松尾 副幹事長8年、幹事長5年、顧問5年…同じ18年！

松尾 会計トラブルだけは、二度と起こしたくないです。

広瀬 あったね…そんなこと。あと監査役は第三者だから執行部やボランティアの皆さんを労える。感謝を言葉にして伝えることは大事だと思うよ。

松尾 会計トラブルだけは、二度と起こしたくないです。

広瀬 あったね…そんなこと。あと監査役は第三者だから執行部やボランティアの皆さんを労える。感謝を言葉にして伝えることは大事だと思うよ。

松尾 個人情報やセキュリティもしっかり整備され、今では二木会もオンラインです。

中原 これは誇れる！オンラインで配信する講演会を毎月開催している同窓会はない！

広瀬 コロナ禍もあったのに執行部は、本当によく対応していると思うね。

最後に東京修猷会とは？

広瀬 偉大なるマンネリ、変わらない良きこそが同窓会。

奈良崎 よく集まるし、よく飲む。母校愛は相当強め(笑)

中原 同期愛も素晴らしい！

松尾 これだけ同窓会に一生懸命になつて修猷の伝統を皆で守っているのは凄いです。

奈良崎 おつ、二人は同期か。

広瀬 この二人なら大丈夫！

盤石の布陣であつたお二人が全幅の信頼を寄せ、次の世代に重要な責務を託しました。道を譲る潔さの中に、修猷愛が溢れる両氏に心からの御礼と感謝を申し上げます。



前方左から広瀬豊さん、奈良崎育雄さん
後列左から松尾隆広さん、中原誠也さん

2025年 二木会

第688回	R7.1	『働き方改革時代の労働法政策の展望』	昭和53年卒	荒木 尚志 氏
第689回	R7.2	『修猷館が与えてくれたもの』	昭和61年卒	松尾 潔 氏
第690回	R7.3	『ユスフ大佐の「パパアニューギニアからの便り」』	昭和54年卒	荻原 洋聡 氏
第691回	R7.4	『未来の日本を食からつくる』	昭和58年卒	楠本修二郎 氏
第692回	R7.5	『人型ロボットの過去・現在・未来』	昭和62年卒	原田 研介 氏
	R7.6	東京修猷会総会		
第693回	R7.7	『世界遺産って何？／TBS「世界遺産」舞台裏』	平成9年卒	江夏 治樹 氏
第694回	R7.9	サロン・ド・修猷 『Worldwide 修猷 ～館友からつながる世界～』	平成3年卒	新井真由美 氏
			平成6年卒	村上美奈子 氏
			平成10年卒	星子 賢二 氏
第695回	R7.10	『「21世紀の黒部ダム」をつくる』	平成29年卒	松藤 圭亮 氏
第696回	R7.11	『日本再生は初等教育の刷新から』	昭和42年卒	山口 秀範 氏
	R7.12	忘年会		

★二木会の講演は、6月、8月、9月、12月を除く、毎月第2木曜日にホテルグランドヒル市ヶ谷で開催。講演後は懇親会を行い、館友同士の交流も盛んです。
★9月は、「Salon de 修猷」として土曜日の昼に開催。
★12月は、忘年会（別会場）のため講演はありません。



二木会のススム

毎月第二木曜日に開催している「二木会」が今年4月で700回を迎えます。昭和27年頃から70年以上もの間、絶えず続くこと、驚きを禁じえません。先輩の方々、執行部、幹事学年の方々に敬意を表します。講演テーマは政治・行政、経済、情報、教育、医療、スポーツなど様々な分野に渡ります。そこで最新の情報を簡潔に話して

いただくのですが、修猷生による修猷生の為の講演会だからでしょうか、講演者に熱意を聴衆に温かさを感じます。講演後の懇親会は楽しい時間です。肩書に関係なく講演者と直に話し、年代を超えた交流をしています。仕事以外の分野を学ぶ機会は案外少ないものです。是非二木会をご活用ください。会場参加1,500円、オンライン参加1,000円、70歳以上及び学生は無料です。会場とオンラインと合わせて毎回100人前後の館友が参加されていますが、もっと多くの館友に参加・視聴してほしいと思っています。遠方の友人、海外の友人はオンライン二木会に誘ってください。新入会員は4月の歓迎会に参加してください。飲食無料です。

二木会は参加費と東京修猷会年会費で支えられています。年会費の支払いをお忘れなく。
(等健次 昭和45年卒)

東京修猷会 URL <http://www.shuyu.gr.jp>



18回目となるサロン・ド・修猷は、ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催する初めてのサロンということで、気分一新、「館友からつながる世界」をテーマに、海外滞在経験のある方に体験談をお聞きするとともに、ホテルならではのスポットライトを利用した民族衣装のショー、お土産として事前アンケートをまとめた冊子作成を企画しました。企画の一環で海外ビールも用意しましたが、売れ行きが良く、開演前に完売というプチャプニングからのスタート。



開演前、ご出演いただいた御三方(左から新井さん、村上さん、星子さん)。

出演者は、帯同家族として海外経験のある新井真由美さん(平成3年卒)、特別支援学校の見学など海外での教育の現場をたくさん見てきた村上美奈子さん(平成6年卒)、仕事で海外赴任された経験のある星子賢二さん(平成10年卒)。

第一部では、お三方の自己紹介から始まり、司会者との掛け合いの中でお三方それぞれの目線での海外経験のお話をいただきました。そして第一部の参加型企画、ルーレットトークがスタート。参加者の方から希望者を募りますが、やはり我こそは、という方がおらず、司会者の指名により、3名の方にルーレットのストップコールをいただき、出た目に沿ってお三方にお話しいただきました。どのお話も生活をしてきたからこそ語れる経験談で楽しい時間であつたという間に過ぎていきました。



等会長のショーでの一コマ

第18回 *Salon de 修猷* 『Worldwide 修猷』～館友からつながる世界～

休憩を挟んで始まった第二部では、外語大からお借りした珍しい民族衣装のファッションショー。参加者の方でも自前の民族衣装を着用してショーに出られるという事で、当日5名の方に参加いただきました。等会長には特別にこちらが用意した民族衣装を着用いただき、ポーズをとりのランウェイ。会場は大変な盛り上がりの中、閉会となりました。

者の方から希望者を募りますが、やはり我こそは、という方がおらず、司会者の指名により、3名の方にルーレットのストップコールをいただき、出た目に沿ってお三方にお話しいただきました。どのお話も生活をしてきたからこそ語れる経験談で楽しい時間であつたという間に過ぎていきました。

昭和50年卒
学年便り
五輪会／野中 哲昌

2025年3月15日と16日の2日間、卒業50周年記念同窓会を福岡で開催。120名の同期が集まり、関東からも28名参加しました。

1日目は懇親会。懇親会の前に、東京勢も参加して有志で懐かしの愛宕山ラン。愛宕山から天神までランニングをし氣勢を上げました。懇親会では、まずはそれぞれ歳を重ねた同窓生の顔と名前を一致させることから始まり、昔の写真やグッズを懐かしみ、同期の九州大学名誉教授の佐々木君の講演や日本のちんどん業界第一人者となった林君の舞に感動しつつ旧交を温めました。

2日目午前中は、まずは修猷資料館の充実した展示で修猷の歴史を振り返り、その後には修猷文化祭に突入（今は3月に1、2年生だ

けでの文化祭）。さすが修猷という展示も多く頼もしい現役修猷生と交流。午後は太宰府天満宮に参拝。社務所で2段重ねの梅が枝餅を頂戴しながら、西高辻信宏第40代宮司（信良先輩御子息）からのご説明を伺った後に、屋根に緑を湛える評判の仮殿で御祈禱をして戴きました。続いて、ヘルメットを被り124年ぶり大改修中の御本殿の工事現場見学。丁寧な檜皮の葺替えに感動です。



こうして無事楽しい2日間を終え、太宰府で解散しました。50年で一つの区切りではありますが、こうやって皆で集まると元氣回復。これからまた新しい人生を老化に抗いながらも切り開いていこうと思いを新たに別れました。

野球部便り
野球部OB会副会長
太田 喜之（昭和59年卒）



野球部は創部130周年を迎え、チームも2024秋県大会ベスト4、2025春の「アレ」まであと一歩の快進撃を続け、OB会も周年事業に一層力がこもった。

125周年は寄付を集め最新打撃マシンや遠征補助費等を贈った。今回は、現役含め150名余りの記念祝賀会と記念誌発刊（86頁）、監督執望の大型バッティングゲージ、防球ネットの充実等（同時練習ができ、限られた練習時間を工夫）を目標に、記念寄付に加えクラウドファンディングを実施した。同窓生や西新地域、歴代保護者の方々など、OB以外からもご支援を賜りありがたかった。



クラウドファンディング（現在募集は終了）を記載した団扇

選手も、背中を見て応援してくれる自分の知らない方々がいると実感できたのは大きい。OB会は700人超、修猷人脈からもご支援をいただいている。例えば慶応大野球部出身者がつなぎ、現役選手に大学野球部の練習体験をさせてもらう等。

OB会もいよいよ本腰入れて「アレ」（無駄なブレッシャーをかけないよう表現しております）への初出場目指し、一丸となり支援しております。皆さまどうぞ温かく見守ってください。

東京修猷会合唱団（仮称）・団員募集！
♪総会の前に一緒に歌いませんか？

2025年6月の総会前に有志によるコーラスがあつたのをご存知でしょうか。2017年東京総会（幹事・讃猷会）の学年企画から生まれた歌「つむぐ星よ」（昭和53年卒・宇佐元恭一さん作）を、小野山健治さん（昭和52年卒）の指揮の下、合唱しました。その時のメンバーを中心に合唱団が発足しました。2026年6月の総会開始前も同様に歌う予定です。練習は2〜5月に月1回程度。一緒に歌いませんか？合唱は何歳になってもできる趣味♪合唱を通して親睦を深められたらと、合唱練習の他にランチ会やコンサート鑑賞も企画中です。経



ご応募はこちらから

会報担当よりお知らせ
弊会事務局がバルティール社よりクリプテル社へ移管しました。新しい郵送、発送先は〒150-0001東京都渋谷区東1-8-11301クリプテル株式会社内です。

第37号『編集後記』でHP全号紙面公開を目指し、欠番原本の募集を決定！岡村浩さん（S35）、甲畑真知子さん（S44）、丸山かおりさん（H9）のご協力で当時の趣き漂うPDF掲載が叶いました。心より感謝申し上げます。皆様、是非一読ください。



過去の会報はこちら

編集後記

何とか期限内に間に合い、校了することができました。快くご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。（天猷会・福島）
集まってくる原稿や写真を文字数等で並び替えて入稿し、少しずつ紙面が埋まっていくのはパズルみたいでとても楽しかったです！彩り豊かに仕上げていただいた研恒社様に感謝です。（天猷会・岩瀬）



東京修猷会
二木会ゴルフコンペ
令和7年9月15日（月・祝）

第55回二木会ゴルフコンペを成田市『グリッサンドゴルフ

クラブ』にて開催しました。S39年卒からH11年卒まで、女性10名を含む総勢41名で、世代を超えて和気あいあいといいに盛り上がりました。栄えある優勝は、2025年に傘寿を迎えられた松本睦彦さん（S39）、準優勝は丸山正晃さん（S58）、第3位は陣野大輔さん（H10）、男子ベスグロは、グロス81で上和田淳さん（H5）、女子ベスグロはグロス91で磯部悦子さん（S59）が栄冠を獲得されました。ニアピン賞は桐明幸弘さん（S51）が2つ、松田剛英さん（H5）、小屋松美佳さん（H11）、ドラコン

賞は磯部悦子さん（S59）、樋田靖子さん（H2）、宮良浩二さん（H2）、濱邊和輝さん（H7）でした。なお、今回も素敵な賞品を皆様から多数ご提供頂きました。この場をお借りして、幹事一同、心より御礼を申し上げます。次回、第56回は、令和8年4月19日（日）に『富士小山ゴルフクラブ』（静岡県）にて12組で開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

2025年度寄付金（敬称略・卒年別）
2024年11月1日から2025年10月31日までに多数の皆様から御寄付を賜りました。ありがとうございました。御礼の意味も込め御名前を掲載させていただきます。

- 【個人】（S28）吉見健三（S28）田中憲明（S30）遠山壽一（S30）岩松知（S30）中村滋（S30）藤吉健司（S30）藤本亮典（S31）伊達直哉（S31）影山滋（S31）村田和夫（S31）中村保夫（S31）箱島信一（S31）板垣征男（S32）内藤武宣（S33）山口浩利（S33）寺澤美和子（S33）武石忠彦（S34）行武賢一（S34）讃井邦夫（S35）可児晋（S35）三嶋睦夫（S36）横倉稔明（S36）村山紘一（S36）田中正夫（S36）土井高夫（S37）小野寺夏生（S37）大須賀頼彦（S38）上田茂（S38）野原宏（S39）貝島資邦（S39）長正次郎（S39）田中滋章（S40）遠山昌利（S40）山形紀明（S40）棚町精子（S41）横大路啓司（S41）桑原昭二（S41）高木健二（S42）山口秀範（S44）甲畑真知子（S44）坂井真知子（S44）仲野恒恭（S44）白井信雄（S44）木原一郎（S44）門司悦子（S45）古賀純治（S45）鳥取章二（S45）等健次（S45）本田由紀子（S46）栗山英俊（S46）山内規義（S46）鹿兒島正信（S46）森山幹夫（S46）中村伸生（S47）田辺宣孝（S48）赤司篤之（S49）井手富士雄（S49）橋村秀喜（S50）橋詰真義（S51）安東泰隆（S51）加藤純一（S51）久保田馨（S53）久保謙哉（S54）伊藤健太郎（S54）伊藤暢裕（S54）中原誠也（S55）奥田恵子（S56）諸藤茂樹（S57）遠藤亜子（S57）遠藤功暁（S57）小林大輔（S58）原沢由美（S58）佐藤和哉（S58）川本和彦（S59）服部豊（S60）山根堅司（S60）朱雀誉史（S60）友枝城太郎（S61）樋口武久（S62）村上太郎（H3）笠原愛佳（H3）小島裕子（H3）谷井哲也（H4）藤村英樹（H5）澤木祐介（H10）副嶋正博（H17）田代真優
- 【団体】33会有志 修猷館同窓会

東京修猷会 年会費納入のお願い

東京修猷会の活動は、すべて皆様の年会費3,000円で運営されています。
●年会費は年間を通じて受け付けておりますので年会費納入にご協力下さい。

- 郵便振替 口座名義：東京修猷会事務局
口座番号：00170-6-172892
- 銀行振込 銀行名：ゆうちょ銀行 口座名義：東京修猷会事務局
店名：〇一九（ゼロイチキュー） 店番：019
預金種目：当座 口座番号：0172892
- コンビニ振込 同封の振込用紙をご利用下さい。
- クレカ決済 東京修猷会のHPから申込みください。



年会費を超える額は、ご寄付とさせていただきます。郵便振替・銀行振込は会員の特定が困難な場合がございます。和暦頭文字（T、S、H、R）と卒年を入れて下さい。

